

昭和54(1979)年9月4日 名古屋市で発生した竜巻

概況

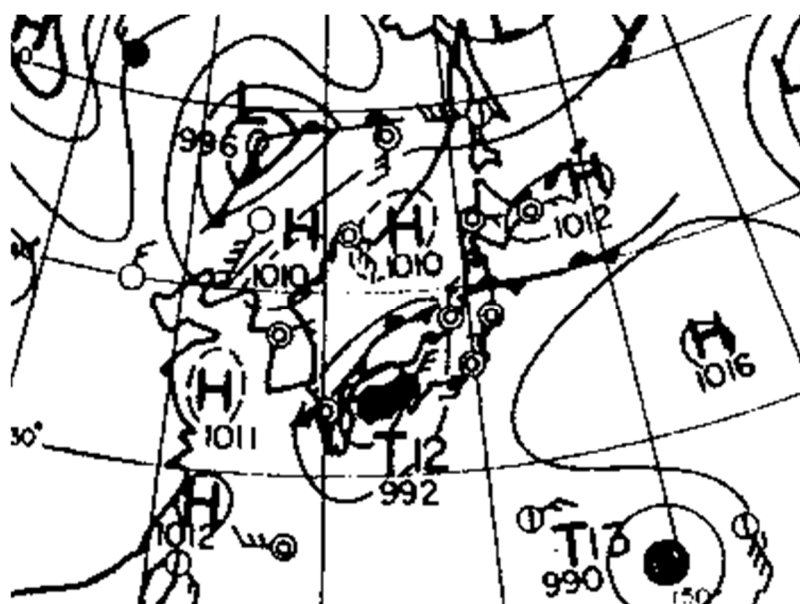
9月3日夜、台風第12号は九州に上陸、加速しながら北東へ進み、4日午前には四国、午後には岡山市付近から豊岡市付近を通り日本海へ進んだ。東海地方は台風の東側にあたり、南からの暖かく湿った気流が入り、大気の状態が不安定となっていた。

竜巻は台風が岡山県東部を通過中の4日13時27分頃、名古屋市天白区野並付近で発生した。その後、竜巻はほぼ北へ進み、瑞穂区城砂町・昭和区滝川町・千種区城山町・守山区廿軒屋・春日井市如意申町などに被害を与え、13時50分頃消滅した。この間の距離は約18km、被害幅の広い所は数10mに達した。移動速度を概算すると時速約47kmと思われる。

市街地を通過したこともあり、死者1名(瑞穂区白砂町で水道工事の作業員が、飛来してきた角材が頭にあたり即死した)、負傷者5名(名古屋市4名、春日井市1名)の人的被害が発生した。

「竜巻による」愛知県被害状況 (愛知県災害誌から)

人的被害	死者 (人)	1	住家被害	半壊 (戸)	4
	負傷者・重傷(人)	0		一部破損(戸)	132
	負傷者・軽傷(人)	5		非住家 (棟)	4



地上天気図 (昭和54年9月4日09時)

竜巻発生約5時間前の地上天気図である。愛知県付近は四国付近にある台風第12号の東側にあたり、台風からの暖かく湿った南風が流れ込んでいた。



名古屋市内在北上している竜巻

名古屋地方気象台屋上から撮影(北西側)

(昭和54年9月4日13時40分)

竜巻の中心部には、はっきりとした漏斗雲が形成されている。